

# コミュニティの共助活動を支援する位置情報共有アプリの社会実装

明星大学人文学部  
天野徹 研究室



- 都内多摩地域の某・大規模マンションが抱える課題
- ・マンション住民の高齢化と安否確認活動の負担...
- ・健常者の方・要支援状態の情報があれば負担軽減が可
- ...単一アプリの簡単な操作が可能なアプリへの要望あり

## ►Swiftを用いた位置情報共有アプリの開発・実証実験

→住民組織による情報管理を前提としたアプリ配布

App Storeにより、unlistedで。。。

機能別のアプリ開発&対象者特性による配布対象の区別により、コミュニティ組織による情報管理を目指す

## アプリの構成

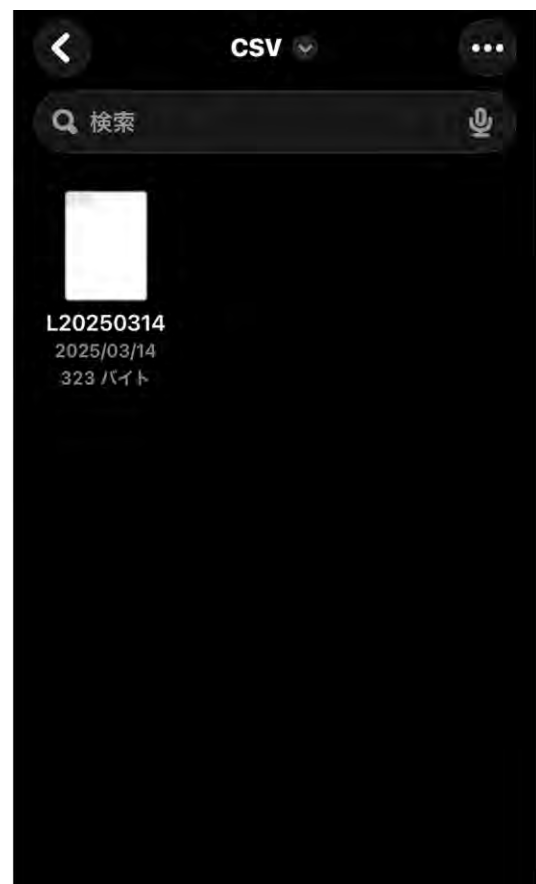
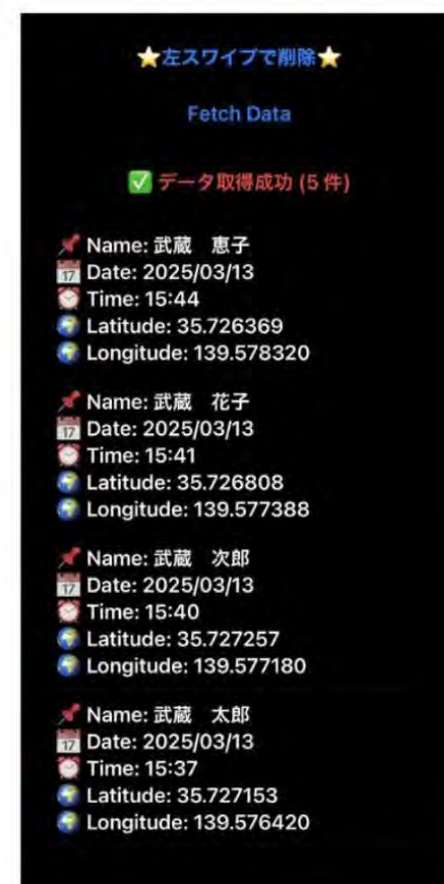


- ・アプリ1: お名前登録  
共有するお名前やメッセージを登録できます
- ・アプリ2: 位置情報通知アプリ  
共有したい情報を位置情報と一緒にデータベースに登録します。(数値が表示されるまで時間がかかる場合があります)
- ・アプリ3: 地図での一覧表示  
登録情報を地図上で表示できます。



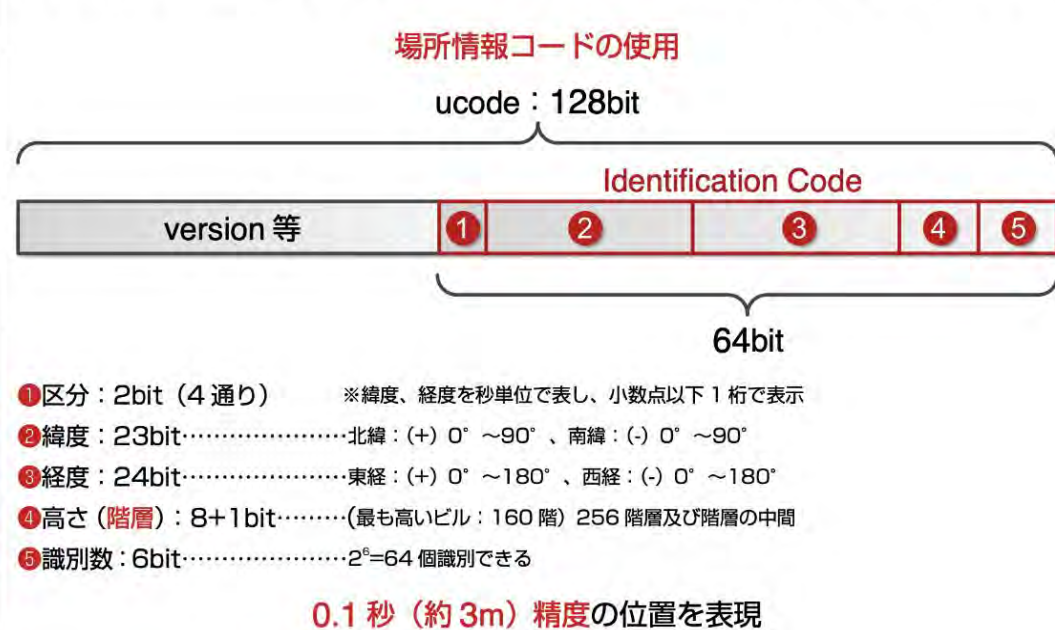
- ・4: 登録者別情報確認  
名前ごとに登録した情報を確認できます
- ・5: 情報の確認・削除  
リストされた項目一つひとつについて、確認した上で削除することができます
- ・6: データの保存  
表示された情報を、端末上にcsv形式で保存することができます

## 実証実験の様子



## 近未来に追加したい様々な機能

将来的には、どの階の方かということも共有できるようにしたい



お名前をタッチすると、その人を中心としたマップが表示される機能を追加したい

そして、Android対応...

- ・災害時にメッセージを共有し、緊急を要する場合はお名前を変えて表示できるようにしたい

## メッセージの例

- ・住居のドアが開きません
- ・通路に荷物が散乱しています
- ・停電等で食事が作れません
- ・怪我で出血しています
- ・骨折して治療が必要です
- ・トイレが使えません
- ・お薬が足りません
- ・医師の助けが必要です
- ・電球が切れています
- ・体調が悪くなっています
- ・水が重くて運べません
- ・物資支援の場に行けません

など

## 文理融合・人文社会科学総合の「21世紀型スキル」の習得を目的とした「総合社会科学としての情報社会学」による人材育成

明星大学 人文学部 人間社会学科(天野 徹)

DXの社会実装と生成AI活用が進むVUCAの時代、新たな価値創造ができる文理融合・人文社会科学総合の知を備えた文系人材が求められている。本活動では、情報社会学で文理融合・人文社会科学総合の知を習得し、地域情報論で実践的なデジタル活用について学び、ゼミではアイデアソン・ハッカソンそして地域活動などに関わる学生たちの情報・知識・スキル面での支援を行い、高度情報社会に対応できる人材の育成を行っている。卒業生からは、DSやDX、VRの等スキルを身につけた文系DX人材、自治体DX人材、AIコンサルなど、Society 5.0の時代を担うに相応しい文理融合型DX人材が継続的に生まれている。

総合知により目指すビジョン / 解決する社会課題  
VUCA時代に生じる社会経済現象を領域横断的・多面的な視点から理解し、人間中心社会の実現を念頭に置きながら、文系的センスに基づいて新たな問題を発見し、問題解決の構想および構築、そして社会実装ができる人材を育成する。

総合知人材の育成方法/育成方法の工夫  
政治・経済・経営・法律から社会学・哲学・情報など多領域の知見を、一つの文脈のもとに体系的に理解できる総合社会科学として、情報社会学のテキストを作成。学際知に基づく人材連携を可能とした。他大学の連携も可能とし、他学部他学科の教員とのアライアンスを進め、他学部聴講の学生も現れるようになっている。

生み出された総合知 / 得られた新たな価値  
DSやGISを使いこなす学生、ハッカソンでシステム構築を行う学生、自治体イベントでアンケート調査を行う学生が育ち、マーケティング会社からAI関係の会社に転職するOB、ICT企業からコンサル会社に転職するOB、DX人材として自治体職員となる学生を輩出。メタバース上のコンテンツを作成する学生も育ちつつある。

## 文理融合・人文社会科学総合の人材育成



文理融合で未来を拓く学生たちとともに

## 文理融合・人文社会科学総合の「21世紀型スキル」の習得を目的とした「総合社会科学としての情報社会学」による人材育成

明星大学(天野 徹) 情報社会学・地域情報論・情報社会研究(ゼミナール)

文系的センスを活かしてDXを進めていくことのできる文理融合型DX人材、すなわち「思考力を中核とし、それを支える基礎力と、使い方を方向づける実践力」を持つ人材が求められている。本活動は、文理融合・人文社会科学総合の知によって、教科・領域横断的な学習により社会経済についての理解力を身につけ、センスメイキングを用いた問題発見・意味創造能力を発揮できる人材の育成を目指している。(テキスト『21世紀型スキルとしての情報社会学』は2020年3月、春風社より刊行)

## 【総合知により目指すビジョン】

VUCAの時代に生じる社会経済現象を領域横断的・多面的な視点から分析解釈。より高い視座から総合的に理解した上で、望ましい解決策を構想できる能力を持つ人材の育成

## 【参画しているステークホルダー】

明星大学文学部人間社会学科の学生、同大学の学部・学部に所属する全ての学生および、単位互換制度に加盟している多摩地域の諸大学の学生のうち、二年生以上の者

## 【生み出された価値/新たな価値】

在学中に自治体イベントの実施に参加しアンケート調査を行う学生が育ち、マーケティング会社からAI関係の会社に転職するOB、ICT企業からコンサル会社に転職するOB、DX人材として自治体職員となる学生を輩出した。さらに、メタバース上のコンテンツを作成する学生も育ちつつある

講義の構成	基礎力: 文理融合・人文社会科学総合の総合知を身につける
	経済学 政治学 法学 商学 社会学 国際関係 知的財産権 イノベーション ビジネスモデル 情報通信技術 情報科学
	思考力: 多様な観点から社会現象を理解し本質を把握する ニューグローバリゼーション 知財戦略 GVC革命 格差社会 質的調査 量的調査 統計学 リベラルアーツ センスメイキング
	実践力: 高度情報環境を活用して新たな価値を提供する オープンデータ・ビッグデータ アルゴリズム プログラミング GIT HUB アジャイル開発 Society5.0 価値創造 人間中心社会